

ひとに
やさしい
まちづくり

しずくいし

社協だより

2007.4
54号

編集と発行／社会福祉法人 雫石町社会福祉協議会

雫石町千刈田82番地2 TEL.019-692-2230 FAX.019-691-1140



肩をぶつけてエンヤコラ！ お尻とお尻でエンヤコラ！！

もくじ

特集：「健康づくり」は「仲間づくり！」…2・3P
平成19年度「社協会費」のお願い……………4P
平成19年度「日赤社資」募集のお願い…………5P
まちの福祉 ……………6・7P
お知らせ ……………8P

表紙写真：体力アップ教室の一コマです。年6回の教室ですが、毎回、会場では参加者の笑い声が絶えません。まさに、「笑う門には健康きたり」です。

体力アップ教室 ～笑って笑って体力づくり～

・リズム体操

隔月第4月曜日、午前10時から11時30分まで行っています。(詳しくは、区長配布されるチラシをご覧ください。)講師は、岩手県レクリエーション協会指導員の相馬満枝先生です。

自分の体調に合わせてながら、毎日無理なくできる体操や、時には、頭を使ったグループでのコミュニケーションゲームが好評の教室です。

(持参品：タオル・運動靴)

・プール教室

昨年度まで、年1回開催されていたプール教室も、参加者の方から要望があり、今年度から年2回開催することとなりました。

8月・2月の第4週の月曜日、午後1時30分から3時30分まで県営温水プールで行われます。講師は、盛岡SS代表の佐々木克也先生です。先生の笑顔につられて、思わず参加される方も自分の体力以上のものを発揮されて、楽しいプール教室となっています。

(持参品：水泳道具・タオル)

・健康ウォーキング教室

今年度初めての教室です。歩くことが少なくなった現代社会人にとって、歩くことは健康にも、仲間づくりにも大変良いと思います。年2回(7月・10月開催予定)景色の移り変わりをしながら、みんなで楽しく山登りや、溪流治いを歩いてみませんか?

(詳しくは6月の区長配布のチラシをご覧ください。)



男の料理教室 ～料理は脳を元気にする～

毎月第2土曜日、午前10時から12時30分まで行っています。講師は、栗石町食生活改善推進員の方です。

昔は、どこの家庭でも台所を預かってきたのは女性でしたが、今日では、男性も料理のひとつやふたつでなくては、一人になってからは当惑するばかり...どんな料理を作るのかを考えるだけでも脳は活性化されると言われます。男性の皆さん、今からでも遅くはないです。講師先生が、すぐに役立つ食事の基本を優しく丁寧に指導してくれます。また、自分達が作った料理を食べながらの交流もまた良いものです。

(持参品：材料代500円・エプロン・三角巾)



ダンス教室 ～笑顔の輪、広がる～

毎月第3水曜日、午前10時から正午まで活動を行っています。講師は、日本フォークダンス連盟公認指導員藤君江先生です。

皆さん、華やかな衣装に身をまとい、手と手を取り合い、笑顔を絶やさず終始、和やかな雰囲気で行われています。

福祉センターの教養講座として、始まったダンス教室ですが、会員同士で「ラ・フランスの会」を立ち上げ、毎月第1水曜日には、自分達で講師先生を招いて練習を行い(時間帯は同じ)、ボランティアまつりや福祉演芸大会、各施設への慰問を行っています。

(ラ・フランスの会 年会費6,000円)



ちぎり絵教室 ～健康は指先から～

毎月第3木曜日、午前10時から午後3時まで行っています。講師は、(財)日本和紙ちぎり絵協会しゅんこう認定講師佐々木とし先生です。

「和紙ちぎり絵」は日本の伝統文化である手漉き和紙を素材とし、ちぎる、剥ぐ、貼る、といった手法で製作する絵画です。素材である和紙は独自の風合い、温もりがありその趣は広く親しまれています。

指先からおりなされる一人ひとりの作品は大変素晴らしいものとなっており、その作品は年に数回、お休み処「ぺこっと」に展示されます。

教室では、原色のお手本、実物大型紙つきの教材を利用していますので、初めての方でも簡単に楽しんでいただけます。

更には、ちぎり絵を楽しむほかにも、毎回手持ちのお弁当を食べながら会員同士の交流も深まっています。

(教材代別途、持参品：お手拭・鉛筆・お弁当)



長寿国日本。全国の平均寿命は男性78歳女性85歳を超え、2015年には、4人に1人が65歳以上になると見込まれています。栗石町でも、すでに総人口の4人に1人(25・9%)が65歳以上です。(H19・3・31現在)

社会や家族に貢献した高齢者がいきいきと活力に満ちた第二、第三の人生を送ることは、本人だけではなく全ての人が望むことです。そのためにも、健康は「守る」という従来の発想から、自ら積極的に取り組む「健康づくり」が重要になってきました。

少子高齢化は急速に進み、人生90年時代の現在。誰もが、健康で安心した生活を望んでいます。目指す姿は、町民一人ひとりが健康でいきいきと暮らせるまちの実現。

今回は、町社会福祉協議会で取り組んでいる、町内に住むシニア(概ね60歳以上)の方々への「健康づくり」「生きがいづくり」のための各種教室(講座)をご紹介します。

今年度は、「フォークダンス教室」「ちぎり絵教室」「男の料理教室」「体力UP講座」の他に、新規事業として、「健康ウォーキング講座」を開講します。

「健康づくり」は「仲間づくり」を合言葉に、これからの人生90年時代をいきいきとしたものにしませんか。

皆さんのご参加をお待ちしています。

各教室のお問い合わせは...
社協事務局まで
電話 692-2230

特集 「健康づくり」は「仲間づくり」!

赤十字月間にご協力お願い致します!!

赤十字社は、地震や台風等の大規模な自然災害によって、多くの人的・物的被害が発生してきましたが、これらの災害発生時に医療救護班を被災地へ派遣し、巡回診療などを行うほか、被災者に対しての心のケアを行うとともに、赤十字奉仕団等と連携し、被災者の支援活動を行ってまいりました。

また、身近なところでは、火災が発生した時には、被災世帯に対し毛布、日用品セット、バスタオルをお見舞い品として差し上げております。

このように、日本赤十字社が多様な活動を展開するための財源は、社員が拠出する社費によって支えられており、社員制度と赤十字の活動について、町民皆様

の一層のご理解を得て、社員の増強と社費の安定的な確保を図ることが必要であります。

5月は毎年赤十字月間として、皆様にご協力を頂いているところですが、今年度も行政区長さんを通して実施いたします。町民皆様のご協力をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

運動の期間 平成19年5月1日から
平成19年5月31日まで
社費の金額 一世帯500円以上

なお、平成18年度は皆様のご理解のもと、2,524,600円の社費にご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

日本赤十字社ではこのような講習会も行っております。



* 地域、職場、学校等で講習会を希望される場合は、栗石町分区（福祉センター）へご連絡下さい。

▶ 問合わせ先 ◀ 日本赤十字社栗石町分区事務局（町総合福祉センター内）
電話：692-2230
担当：大村

社協は皆様に支えられています。

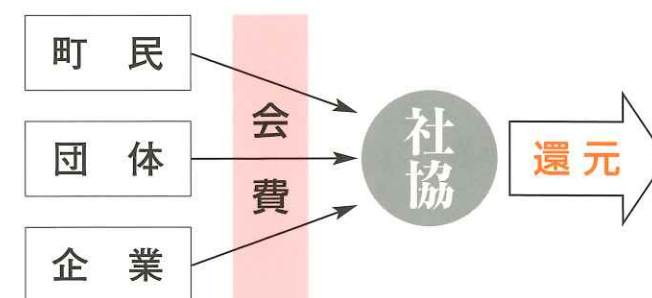
◆ 社協会費のしくみ ◆

社協活動を支える財源は、国・県・町をはじめとする各種補助金や共同募金の配分金、それと町民の皆様から寄せられる寄付金や社協会費によって賄われます。

しかしながら、社協が主体性を持った福祉活動を行うためには、国や県に頼り切ることなく、自らが活動する資金をもたなければなりません。

栗石町社会福祉協議会では、昭和49年より会員会費制度を導入し、住民参加型のネットワークづくりを始めました。皆様から寄せられる会費は社協の貴重な自主財源として、皆様のより身近なところで地域福祉の充実に活かされております。

◆ 会費の流れ ◆



* 詳しくは、今回区長配布されるチラシをご覧ください。

なお、昨年度皆様からご協力いただいた金額は、3,804,000円でした。ご理解・ご協力ありがとうございました。

▶ 問合わせ先 ◀ 町社会福祉協議会事務局
電話：692-2230
担当：米澤・柿木

◆ 社協会費の目的 ◆

本会が推進する会員会費制度の目的は、社会福祉事業推進のため、地域住民の福祉への参加と会員会費により自主財源の確立を図り、民間社会福祉活動・地域福祉活動の一層の充実を図ることです。

社協の行う住民福祉活動に対して皆様にご理解を頂き、社協会員となって会費をお納めいただいております。

これからも社協の基盤を強化し、福祉事業をより充実させていくため、個人・団体などの皆様方に、会員として社協をご支援下さいますようお願い致します。

- 地域子育て支援事業
- 一人暮らし老人昼食会
- 夫婦老人招待会
- 母子父子家庭交流会事業
- ボランティアまつり
- 青少年ボランティアスクール
- 町社会福祉大会
- スノーバスターズ事業
- 体力アップ教室
- 各種生きがい教室
- 各種ボランティア養成講座
- 各種団体助成金 など

まのちの福



福祉に関するご意見・
話題がありましたらお寄せください。

社協事務局 (☎ 692-2230)

リーダーの心得を学習!!

「単位クラブリーダー研修会」として2月22日(木)町総合福祉センターで、町内の単位老人クラブ(49クラブ)の会長等がリーダーとしての心得を学習しました。

この日は、岩手県老人クラブ連合会事務局の宮崎道夫さんを講師に招き、およそ1時間半に渡り「老人クラブ活動の活性化のために」と題して、少子高齢化の進む社会、団塊の世代の動き、社会福祉制度の動向、

単位クラブリーダー研修会



講師の宮崎道夫氏

クラブ活動の活性化への課題等をユニモアを交えて参加者を飽きさせない話術で講演をいただきました。特に、雫石町は県内でも最初に、小学校の見守り活動を実施していることは高く評価されました。

参加した方々は「今日の講演は、今後のクラブ活動のために大いに参考になり、勇気づけられ大変満足です。」と笑顔で会場を後にしました。



皆さん真剣に学習されていました。

わくわくクラブできました。

雫石小学校に放課後児童クラブ

4月1日から、雫石町社会福祉協議会では雫石町の委託を受け、雫石小学校の空き教室を借用して、放課後児童クラブ「わくわくクラブ」がスタートしました。

現在利用登録者は58名。

ここでは、「ただいま!!」と言って帰ってくると、次には宿題や勉強をしてから遊ぶと言う習慣が自然に



“わくわく”楽しい仲間たちです。

身につき、何よりも兄弟がいる子もいない子も一緒になって家族として過ごせる場となっています。仕事をしていた親御さんにとっても、安心して預けられる場所となっています。子供たちが名づけた「わくわくクラブ」の名のとおりわくわくする児童クラブスタートです!!



僕達が待っているよぉ～!

「雫石町福祉作業所かし和の郷」

決意新たに一生懸命頑張ります!!

～自立支援法に基づく事業所として認可を受けました～

就労継続支援B型雫石町福祉作業所かし和の郷 開所式
平成19年度雫石町福祉作業所かし和の郷入所式



皆様のご支援よろしくお願いします。

雫石町福祉作業所かし和の郷は、昨年2月にNPO法人格を取得して、リサイクル資源回収をはじめ、タオル印刷、草取り作業等、地域の方々、町民の皆さんに支えられながら、作業に取り組み、作業所運営をしています。



資源回収作業の様子。「頑張ってます。」

また、今年度は、就労継続支援B型事業所として、4月3日(火)に、事業所の開所式と入所式を行い、20名の利用者とともに新たな気持ちで頑張りたいと思っています。

この度の事業所の開所にあたり、多くの方々に助けられ、ご支援をいただきました事に、深く感謝申し上げます。

かし和の郷も満10年という節目の年でもあり、「NPO法人かし和の郷」もおかげさまで1周年を迎えることができました。日を改めて、共に祝いたいと思って企画しております。

今後とも、地域の皆様に支えられながら、利用者共々スタッフ一同笑顔で頑張りますので、ご支援の程よろしくお願い致します。

雫石町福祉作業所かし和の郷

所長 佐々木 百合子

電話 691-1230

お知らせ

Information

「かし和の郷」は、新メンバー 下川原勇耶君と篠村貴子さんを迎えて20名でスタートしました。

新しい事業所形態になりましたが、同じ仲間たちと作業を続けられる喜びと、「どんな事にも負けず頑張るぞ!!」という力強い決意表明もあり、毎日を明るく楽しく過ごしています。これからも地域の方々、町民の方々に愛される作業所を目指し頑張ります。

かし和の雲通信

手をつなご



退任にあたって



前社会福祉法人
雲石町社会福祉
協議会事務局長
工藤 直映

就任以来2年7ヶ月で退任することとなりました。

お世話になりました行政及び社会福祉協議会の方々並びに関係者の方々に、この紙面

事務局長就任あいさつ



社会福祉法人
雲石町社会福祉
協議会事務局長
米澤 繁

私は、本年4月1日付で、社会福祉法人雲石町社会福祉協議会事務局長の職務を担うことになりました。

今、私たちを取り巻く環境は、一時の景気低迷時期から脱却し、安定した形で経済成長が持続しているといわれていますが、これは必ずし

をお借りし厚く御礼申し上げます。私もこの間、地域福祉事業の最前線にたち活動させていただいたことは今後多方面にわたり、必ずや役に立つことと確信しております。

今後の社会福祉協議会の運営につきましても収入に大きな割合を占めてきた補助金や委託料など減少傾向に伴い、財源確保には苦慮されるこ

も各層に浸透しているとはいえない状況にあり、このため、それぞれの分野で難しい財政運営が続いていくものと予測されます。

このように社会構造が大きく変革している情勢の中にあつて、誰もが安心して暮らせるような施策の更なる充実を図っていくため、住民生活に密着した福祉サービスを展開していく必要があります。

福祉の向上は、人間生活の基本的条件であり、そのためには、社会生活が住民相互の

とありますが、すばらしい事業も多々ありますので引き続き地域社会の福祉増進のために実施して頂きたいと思えます。最後になりましたが雲石町社会福祉協議会の益々のご発展をご祈念申し上げ、退任の挨拶にかえさせていただきます。

信頼と連帯によって成り立つものと思っております。

人口の高齢化の急速な進行などの事情から、福祉関連施策への広範な需要は拡大する

一方で、町社会福祉協議会としての基本的な役割の一つであります住民参加型の福祉サービス提供の充実を目指し、鋭意努力して参りたいと存じます。

どうか住民の皆様も旧に倍して格別のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

これからの行事予定

5月7日(月) 第1回体力UP教室

9日(水) ダンス教室

12日(土) 男の料理教室

17日(木) ちぎり絵教室

一人暮らし老人昼食会

18日(金) 心配ごと特別相談所

23日(水) ダンス教室

6月1日(金) 母子寡婦福祉協会

4日(月) 定期総会

(第1弾) 夫婦老人招待会

6日(水) ダンス教室

9日(土) 男の料理教室

11日(月) 夫婦老人招待会

(第2弾)

13日(水) ダンス教室

15日(金) 在宅介護者の集い

21日(木) ちぎり絵教室

25日(月) 第2回体力UP教室

*事情により、変更になることもあります。予めご了承下さい。

善意のご寄付

社会福祉活動のために役立ててくださると次の方からご寄付を頂戴しました。ありがとうございます。

◎ 物品寄付

雲石児童館 様

(ベット・布団一式)

訂正とお詫び

社協だより53号の記事で誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

P4 第30回雲石町社会福祉大会褒賞(在宅介護功労者) 松ノ木シゲ様の行政区名が和野となっておりましたが、正しくは上野野行政区の誤りでした。謹んでお詫び申し上げます。

編集後記

春らしくなってきたかと思えば突然雪が降ってみたり、どうやら空の方も忙しようです。

我々も年度が替わり、忙しいところではありますが、「思いやりの気持ち」は常に忘れずにいたいものです。さあ、今年度も新しい出会いが待っています。人と人とのつながりを大切に今年度も社協だよりスタートです。皆様のご意見お待ちしております。(文)